

とんでった

パンツ

ぴよん太堂。

謹製

ちびうきくんは パンツにこだわる

おしゃれさん





ももうきちゃんに
あいにいくのに
パンツがひとつも
ないので
ママうきは います
「おさるは パンツはかなくても
へいきなんだよ」





でも ちびうきくんは
いやなんです





しめったままでも
いいやいと
いちばんのおきにいりに
てをのばします

ところが



もうすごしで とれるのに

パンツは かぜに ふきとばされてしまいました

しかたない...



しかたない

べつのパンツに
てをのばす
ちびうきくん

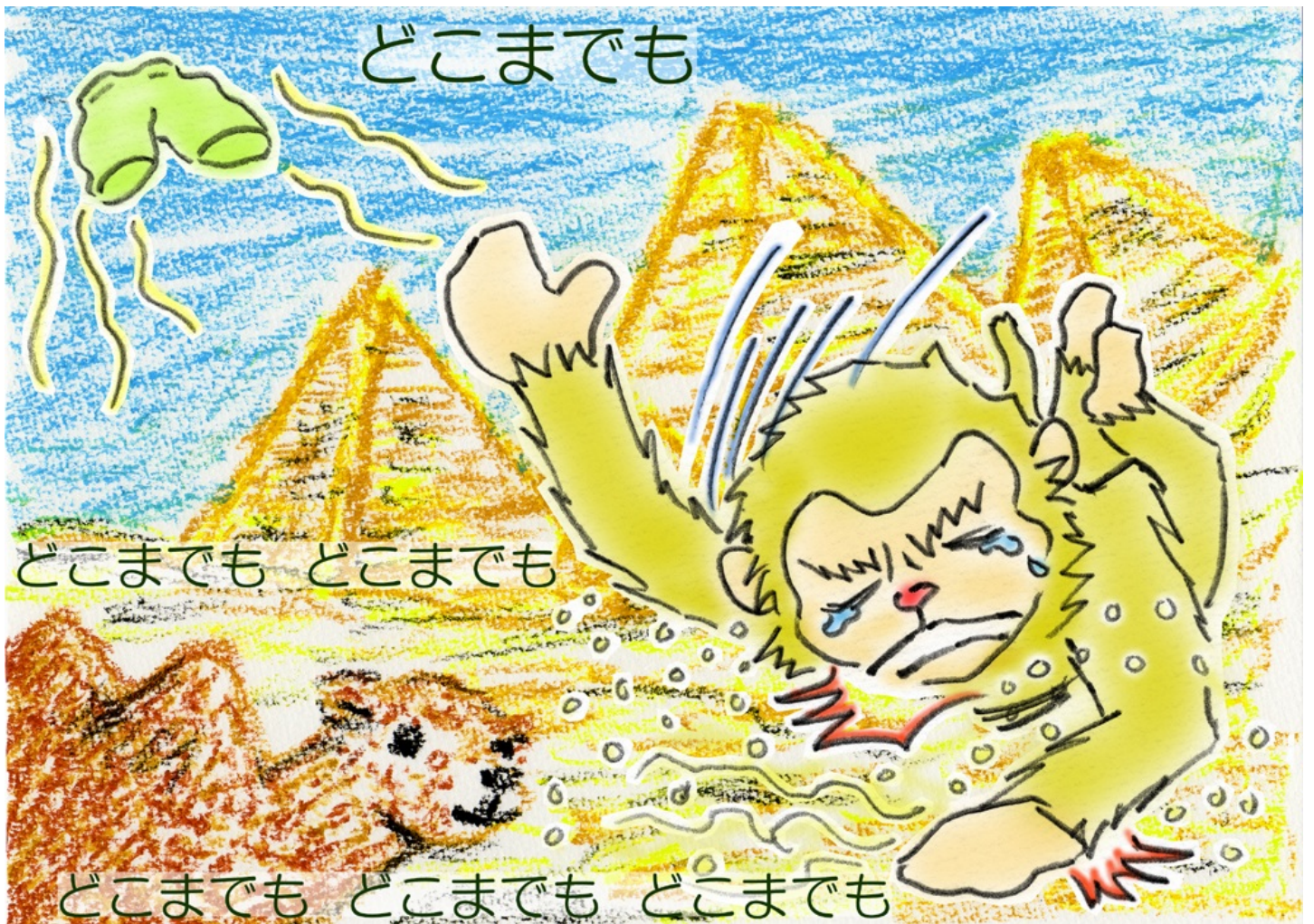
でもやっぱり
あきらめきれません







パンツは にげます
どこまでも



もう あきらめたい と
おもいました

でも

あきらめるのは
いやでした



ちびうきくんは おいかけます
どこまでも どこまでも

パンツは にげます どこまでも
どこまでも どこまでも





そして ついに！

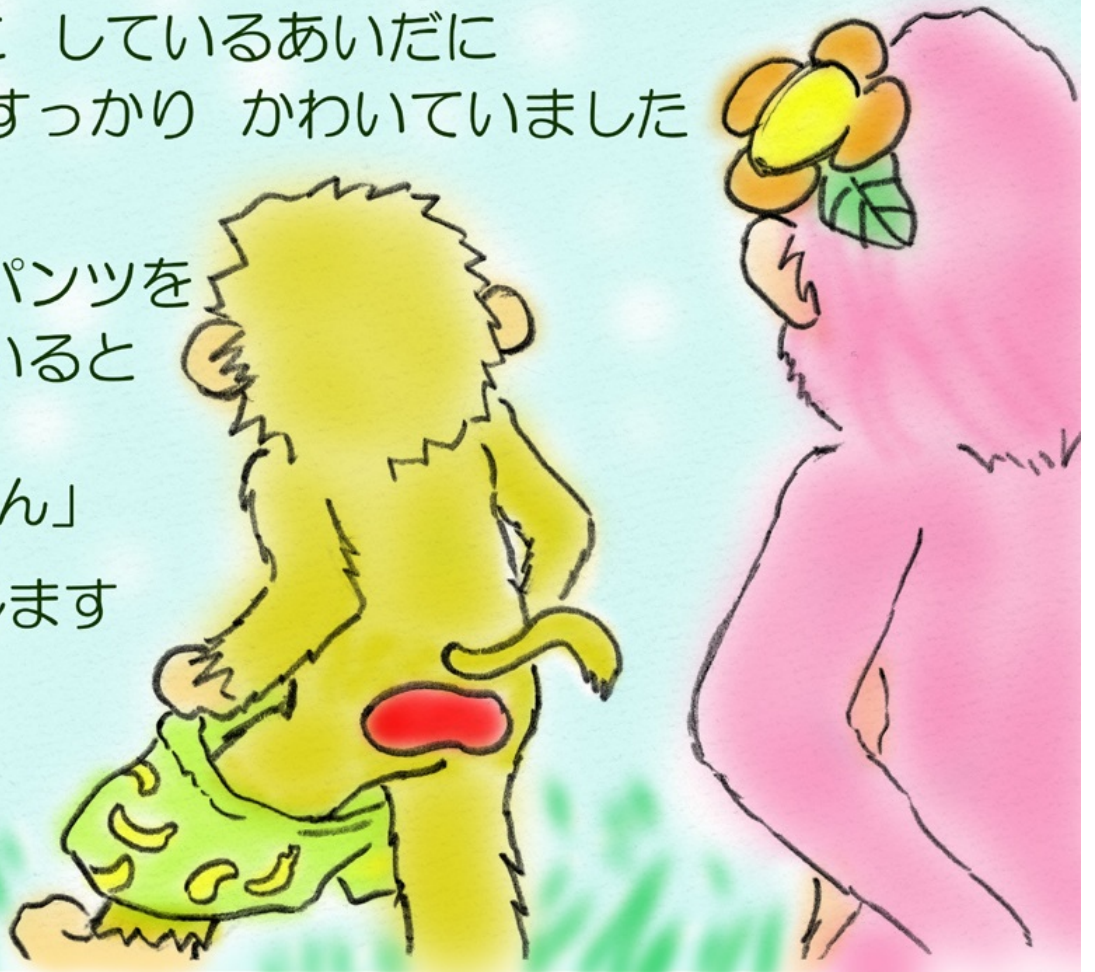
ちびうきくんは パンツを
つかまえることが できたのです



おいかけっこ しているあいだに
パンツは すっかり かわいていました

ほっ として
さっそく パンツを
はいていると

「ちびうきくん」
こえがします

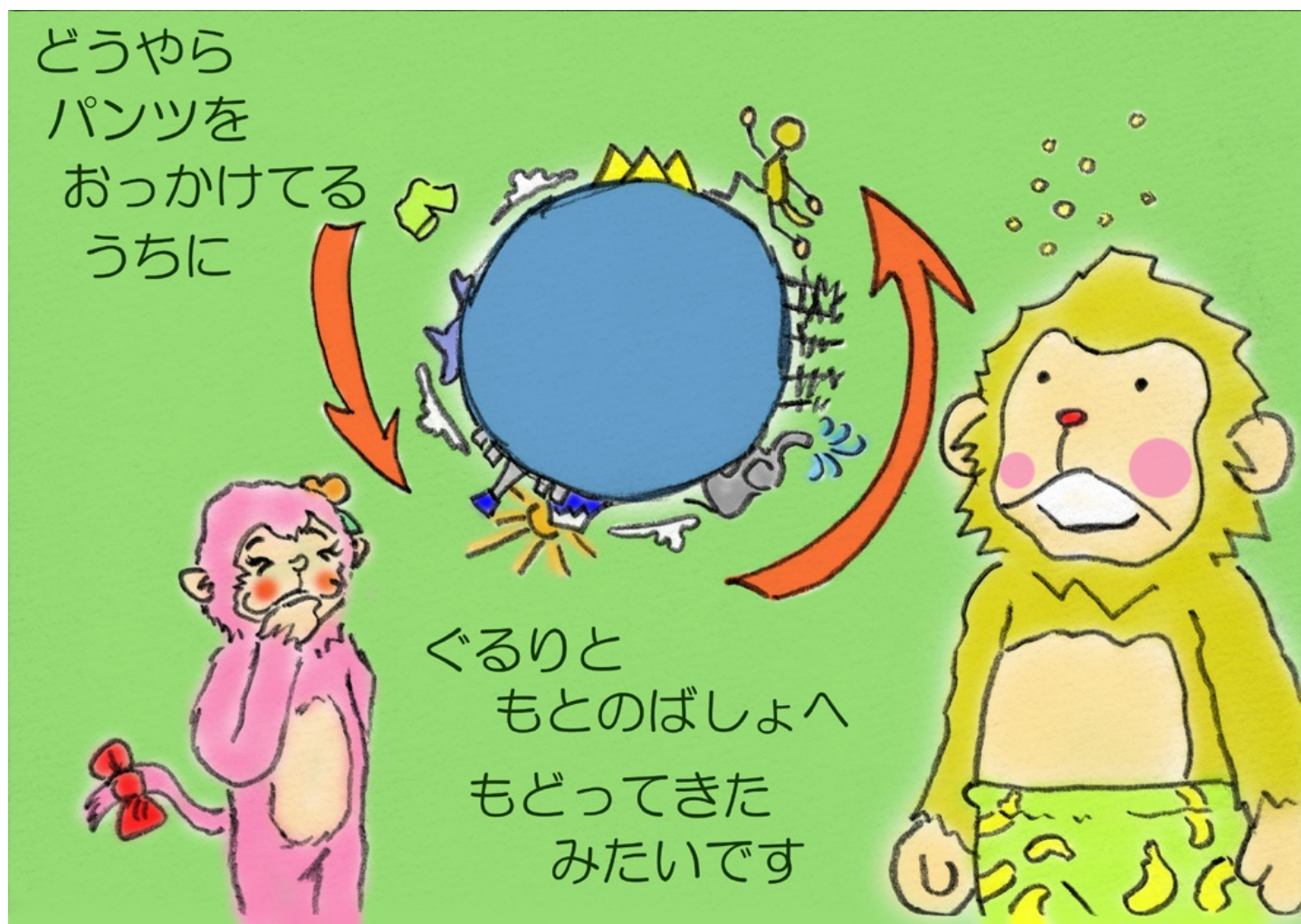


ちびうきくんは
びっくりして
とびあがります

だって そのこえは
ももうきちゃんの
ものだったから

どうして ここに
いるのでしょうか？





「きょうの パンツも カッコいいね！」
って ほめられて からだじゅうが ぽわっとします





やっぱり
パンツを
はいてきて
よかったな
とおもう
ちびうきくん
でした